



美里町
議会だより

きらり

第15号

令和4年11月1日



中央中学校



議長



砥用中学校

子ども議会(中学生)はつらつと開催!

目次

令和4年第3回定例会	P2
令和3年度決算審査報告	P3
町政のここが知りたい	P4~9
常任委員会活動報告	P10
子ども議会(中学生)	P11
みんなの声	P12

去る、8月23日(火)に、中学生による子ども議会が開催された。岩永実桜議長の進行で砥用中・中央中両校の代表8名が、美里町の町づくりに対する質問を行った。本議会さながらの緊張感に満ちた雰囲気の中、町の未来に向けたそれぞれの思いをしっかりと発言する力強い姿が見られた。

小さくても キラリと光る 私たちのまち

令和4年第3回定例会

令和4年第3回定例会は9月6日（火）から9日（金）までの4日間の会期で開催された。

今回提案された町長提出の案件は、専決処分1件、条例3件、令和3年度決算関係7件、令和4年度補正予算関係7件、その他5件など23件を審議し全議案可決・認定した。また報告1件も承認した。

一般質問には、6名の議員が登壇し活発な議論が交わされた。

●議決事項

議案番号	件名	議決結果
第44号	専決処分事項《令和4年度美里町一般会計補正予算（第5号）の報告及び承認》	原案可決
第45号	美里町行政組織の改革に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
第46号	美里町防災行政無線検討委員会設置条例	原案可決
第47号	美里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第48号	令和3年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定	原案可決
第49号～54号	令和3年度美里町特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決
報告第4号	令和3年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	承認
	監査委員の意見書説明	
第55号	令和4年度美里町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
第56号～61号	令和4年度美里町特別会計補正予算	原案可決
第62号	早楠辺地に係る総合整備計画の策定	原案可決
第63号	有安地区旧工場跡地解体工事請負契約の締結	原案可決
第64号	町道路線（金木橋線）の認定	原案可決
第65号	字の区域の変更	原案可決

●令和4年度美里町一般会計補正予算（第6号）

一般会計の補正（第6号）は、4億8066万円を増額し総額77億1479万円となった。主な事業は次のとおり。

事業名	金額	内容
農業用燃料価格等高騰対策支援金	1879万円	対象経費の6%を補助。上限10万円
給食費保護者負担軽減対策事業補助金	631万円	経費の20%を補助
災害復旧工事（R4災害分）	1500万円	7月の豪雨災害復旧
有安地区旧工場跡地解体工事費	9145万円	旧工場跡地解体工事費
原油価格・物価高騰対策支援給付金	4599万円	全町民へ@5000円（基準日：令和4年10月1日）
原油価格・物価高騰対策支援補助金	2835万円	商工業者に対し対象経費の6%補助。上限10万円
老朽危険空き家等除去推進補助金	766万円	10戸分計上
B&G 体育館トイレ改修工事	980万円	洋式へ改修

第三回定例会質疑

【濱田議員】佐俣の湯落石防護柵設置工事は、どのような形で実施されるのか。

【西寺経済課長】雑石積の天板の裏に設置予定で、フェンスの長さ54m、基礎ブロックは28基、フェンスの高さは1.5mである。

【濱田議員】関連質問として、岩等で壁を造っており、合間から草等が生える壁の高さが約3mほどあるの、草取りの作業時危険が生じる。この作業を安全にできる様、柵にワイヤーを施しハルネスを利用し安全確保ができないか。

【上田町長】佐俣の湯にも聞き取りをし、柵に取り付けるかどうかも含めて総合的に検討する。

【今田議員】原油価格・物価高騰対策支援給付金については、誰を対象にどのような方法で給付されるのか。

【坂村総務課長】町民全員を対象に、一人当たり5000円を定額給付金が入金された口座に振り込む。

【福田議員】介護プラン緊急整備事業補助金の事業内容は、

【谷口福祉課長】くまもと温石病院と間部病院の家族面会室の整備に係る支援。

【濱田議員】有安地区への工事等の説明会の実施について、どのような対応をされるのか。

【松岡企画情報課長】日程を含め、区長さんに相談させていただいて説明会を実施する。

条例の制定及び改正の 主なもの

●美里町行政組織の改革に伴う関係条例の制定

業務の効率化および住民サービスを向上させるため関係条例を改正する。

●関係課の名称変更

- 企画情報課↓美しい里創生課
- 住民課 ↓住民生活課
- 経済課 ↓農業政策課
- 林務観光課↓森づくり推進課
- 水道衛生課↓上下水道課

●美里町防災行政無線検討委員会設置条例の制定

防災行政無線の老朽化などの問題を踏まえ今後の防災行政無線のあり方および運用、システムの更新などの検討を行う。

●有安地区旧工場跡地解体工事請負契約の締結

- 契約金額 91、450、000円
- 契約の相手方 有限会社 プログレ
- 契約の方法 指名競争入札

令和3年度 決算

会計別決算		歳入	歳出
一 一般会計		86億7092万8578円	81億3403万3407円
特別会計	国民健康保険	14億6714万8486円	13億9620万6818円
	土地取得	10万462円	323円
	介護保険	21億1704万1373円	20億6471万5672円
	生活排水	1億9314万8494円	1億8688万2992円
	後期高齢者医療	1億6263万3100円	1億6041万2784円
	簡易水道	2億4558万2719円	2億4537万6859円
合 計		128億5658万3212円	121億8762万8855円

決算審査報告及び総評

・地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度美里町一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査を、令和4年7月25日～8月22日（実働11日間）において行った。

美里町監査委員 大西 茂
美里町監査委員 高田美千子
一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調査、歳入歳出事項別明細書、財産に関する調査及びこれらに関する証書類を審査した結果、計数に誤りもなく正確であり予算の執行状況も適正であると認めた。

本町の財政状況は、地方交付税を始めとした依存財源が78%を占めており、国や県の支援が及ばないものについては財政調整基金の取り崩し等に対応している。今後、上水道未整備地域に対する拡張事業や公共施設等の長寿命化対策等の本格化が見込まれると共に、長期的な将来負担として宇城広域連合による大型施設整備事業の公債費負担金等に多額の財政需要が見込まれることから、国や県の動向を注視して、有利な補助金や起債を活用し、中長期的計画に基づき効果的・効率的な財政運営に努められたい。

第3回議会臨時会 7/6・水
●令和4年度一般会計補正予算（第3号）

主な事業は
・マイナンバーカード普及促進に伴う経費（国庫補助金）

・子育て世帯等臨時特別支援給付金（住民税非課税世帯等分）（国庫補助金） 488万2千円

・子育て世帯生活支援特別給付金（町独自分）（新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金） 400万円

第4回議会臨時会 7/8・金
●令和4年度一般会計補正予算（第4号）

主な事業は
・町道小田尾線の法面崩落災害復旧・測量設計委託料（基金繰入金） 350万円

第3回全員協議会 8/12・金
【議題】

1 中央地区水道事業について（水道衛生課）概要

①事業区分・簡易水道事業

②計画給水区域・中央北地区全域

議会活性化特別委員会報告

(1)情報公開 4項目

(2)住民参加 11項目

(3)議会機能強化 10項目

※活動報告は次号で行う。

令和4年度第2回宇城広域連合 議会臨時会 7/25・月

・三分署消防ポンプ自動車購入
・その他

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。一人60分以内の時間制限内であれば質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、紙面の都合で質問と答弁が要約してあります。今回は6人の議員が登壇し町政について問いました。

まちづくり ドローンの積極的活用を！

町長

ドローンの物流・建設・農業分野への活用を期待！



坂田 竜義 議員

●令和4年6月26日地震への対応について

①なぜ防災無線は機能しなかったのか

(坂村総務課長) 緊急地震速報には「警報」と「予報」があり、今回の美里町を含む地震発生地域における予想震度が5弱未満であったため緊急地震速報(警報)が発表されず防災行政無線が起動しなかった。

②携帯電話会社の緊急速報メールは受信しているのになぜか

(坂村総務課長) 緊急地震速報(予報)については、各気象予報情報を発信する事業者から配信されており、震度3又はマグニチュード3.5以上と予測されたときと定められている。

③地震計は町内には何箇所設置されているのか

(坂村総務課長) 地震計は気象庁と各自治体及び国の防災科学技術研究所の3者で全国に設置されている。町内には役場中央庁舎、永富の老人福祉センター、柏川の葛野橋付近の三か所設置されている。

④震源地と日奈久断層との関係はどうなっているか

(坂村総務課長) 日奈久断層は動いていないが平成28年に発生した熊本地震の余震である可能性や日奈久断層帯近くの小規模な断層が動いた等の見解が出ている。

●ドローンの活用によるまちづくりの推進について

①ドローンを今後の町政にどう活かすか

(松岡企画情報課長) ドローンの将来性については、物流、建設、農業はじめ様々な分野での活用が期待されている。今後の活用については、

安全面の課題解決などドローン技術の更なる発展を注視しながら検討していきたい。

②林業分野への運用はどうなっていくのか

(大本商工観光係長) ドローンの導入で森林の現況調査や測量など情報のデジタルベース化で業務のスピードアップ、質の向上ができる。また空撮での災害現場の復旧計画、苗木運搬など期待される。

③農業分野、いわゆるスマート農業への運用はどうなるか

(西寺経済課長) 本町でも水稻栽培での農薬散布が実施されている。今後は労働時間短縮、低コスト化を追求し、露地野菜でも肥料や農薬散布や生育状況等での活用など多岐にわたる活用が見込まれる。

④買い物難民支援や見守りなど運用の拡がりが見込まれるがその見通しは

(松岡企画情報課長) 運用の広がりを検討して行きたい。



期待のドローン

その他の質問

○ふるさと納税の積極的運用について

- ①現状と当面の取り組みについて
- ②寄付金が増えない原因をどう捉えているか
- ③返礼品は今後どう選定していくのか
- ④他の自治体への寄付による税の控除額はどの程度か
- ⑤産地偽装問題への対応はどうなっているか

マイナンバーカードの普及促進は!

町長

ぜひマイナンバーカードを作って活用を!



平野 保弘 議員



マイナンバーカード申請書受付

●マイナンバーカードの普及促進について

(問) 現在のマイナンバーカードの交付率はどうなっているのか。

(松永住民課長) マイナンバーカードの交付率は令和4年8月末現在で30・8%となっている。

(問) マイナンバーカードを持つことでのメリットとデメリットについて。

(松永住民課長) 代表的なメリットとしては本人確認の際の顔写真付きの公的な身分証明書として利用できる。次に健康保険証として一部の医療機関から利用できるようになってきている。なお、健康保険証以外にも各種カードとの一体化が計画されている。次に各種行政手続きのオンライン申請に利用できるが、今後オンラインでできる行政手続きが徐々に増えていくものと考えられる。デメリットは、適切にカード管理がされていけば特にないものと考えられる。

(問) 今後マイナンバーカードの交付率を上げようとするのであれば、どのような普及促進方法を考えているのか。

(上田町長) 現在マイナンバーカード取得者1人に対して50000円を給付する取得促進給付金事業を行っている。現在庁舎で申請支援を行っているが、9月より事業所・団体等に出向いて出張オンライン申請サポートを行う。マイナポイントの申し込み支援も行っているが、8月まではスマートフォンが必要だったが9月からはスマートフォンを持っていなくてもマイナポイントの申請支援が出来るようになった。今後様々な分野で活躍できるカードになってくる。例えば支援金・給付金等を支払う場合、マイナンバーカードを持っていて銀行口座と紐付けされていれば、すぐに簡単に支払いする事が出来る。町民の皆様にはマイナンバーカードを作っていたら活用していただきたい。

●交通安全対策について

(問) 町内の主要町道では歩道のない部分が多数あるが、特に危険な場所への歩道の設置は出来ないか。

(富永建設課長) 新たに歩道を設置する場合は、用地取得の費用や地権者との交渉などに長い期間がかかることから、歩道のない道路では路側帯の存在をわかりやすくして、歩行者を保護する

る目的で緑色などのカラー舗装を施工し、ドライバーへの視覚的な注意喚起を促し歩行者の安全を確保する方法が近年数多くとられてきている。今後、歩道設置の要望があった場合は、歩行者の安全を確保するうえでどの方法が費用や完成までの期間が短くて済むのかなどの状況確認を行い、国の補助事業を活用した事業着手への検討を行っていきたいと考えている。

(問) 国道218号線では横断歩道がないところを横断せざるを得ないところがあるが、歩道や横断歩道の設置など県に要望できないものか。

(富永建設課長) 横断歩道の設置については、横断歩行者の数や交通量などを総合的に判断し、歩行者の安全を確保する必要がある場所に、県の公安委員会が設置をしている。横断歩道の設置の要望があった場合には、道路管理者である熊本県を通じて要望を行っていきたいと考えている。

その他の質問

◎肥料の高騰対策について

- ・政府の新たな肥料高騰はどのような内容か。
- ・町としてはどのように係わるのか、また独自の対策は考えているのか。

◎砥用庁舎への上り坂について

- ・高齢者の方が歩いて砥用庁舎に行かれるのには体力的に大変であるが対策は出来ないのか。

防災行政無線の新規更新は！



吉住 淳一 議員

●6月26日に発生した地震について

(問) 職員の配置体制は適切に行われたか。

(坂村総務課長) 町地域防災計画(震災対策)の職員配置計画に基づき地震発生30分以内に52名、45分以内に30名1時間以内に11名、最終的に122名の職員がそれぞれの庁舎に参集し対応にあたった。

(問) 避難指示の発令・解除のタイミングと町地域防災計画(震災対策)中の文言訂正は必要ないか。

(坂村総務課長) 午後10時15分に町内全域に警戒レベル4避難指示を発令した。その後、被害調査を行い27日午前0時に対策本部会議を開き午前1時に対策本部を残したまま第1警戒体制へ移行した。翌朝6時から再度被害調査を行い解除の要件を満たしていると判断し配置体制を解除した。

地域防災計画の一般災害対策は避難指示に一本化されているが震災対策では避難指示・勧告とある。修正を行っているなかったので現状を把握し検討を行って行きたい。

(問) メディアへの対応はどうだったか。

(町長) 平成19年の災害や28年の熊本地震ではかなり業務を圧迫した。報道機関からの依頼内容を明確に区

分するなどマニュアルの作成等も含め検討していきたい。

●防災行政無線について

(問) 防災行政無線について新規更新の予定はあるのか。

(坂村総務課長) 19年度運用から15年が経過しているのを踏まえ「美里町防災行政無線検討委員会」の中で新規更新も含め検討を行っていく。

(問) 故障や老朽化したものについては無償で交換できるのか。

(坂村総務課長) 修理・交換ともに無償で行っているので故障や不具合がおきた場合は遠慮せず総務課防災交通係まで連絡を頂きたい。



現在の防災無線戸別受信機

●マイナンバーカードについて

(問) 取得促進給付金事業の状況はどうなっているか。

(坂村総務課長) 8月末現在で652世帯1314人の申請があつておりその内の74・9%の984人分、額にして4、920、000円の給付金が支給されている。

(問) 取得に対するメリットと今後の取り組みについて。

(町長) 依然、美里町は県内で取得率最下位ということで今後も取得促進に向けた取り組みを進めて行く。

●町道九尾線について

(問) 町道九尾線から椿下松の本線について近年車の往来が多くなっているが現状は把握されているか。

(富永建設課長) 砥用地区から八代方面への抜け道として通勤や通学など近年朝夕の交通量が多くなっているのは聞いている。

(問) 調査・検討する必要があるか。

(富永建設課長) 一部区間においてカーブが連続しており大型車など離合できない場所があるのは把握している。抜け道として利用されているので、佐保からの国道443号線の整備状況を見ながら町としても注視して行きたい。

町民の安心・安全な生活環境作りは



限部 寛 議員

町長

将来的には町内で水をまかなうことも

●中央北地区水道事業

(問) 来年度から始まる水道事業の具体的計画は。

(安達水道衛生課長) 今年度、水道事業の創設認可を県よりいただき、令和5年度に実施設計の委託業務を行い、一部の送水管工事を予定している。次に令和6年度から令和14年度までの期間は小筵水源地区、萱野ポンプ場、岩下受水場、中央北配水場の整備、送水管等の布設、電気計装等の工事を行っていく計画である。

(問) 実際の給水時期の予定はいつか。

(安達水道衛生課長) 令和8年度に給水管布設を行い、令和9年度より一部給水を開始(下中郡地区)し、令和10年度より順次地区ごとに給水を行っていく予定。

(問) 地下水が悪い地域から優先的に施工する計画はあるのか。

(安達水道衛生課長) 初めに中央北地区で最も水質の悪い下中郡地区から、と考えている。

(問) 小筵地区の水源並びに白石野地区の水源を活用する計画はあるのか。

(安達水道衛生課長) 小筵地区について

では10年ほど先になるが、中央北地区の事業完了後に中央北地区拡張工事として、その時利用可能であれば、利用する計画がある。次に、白石野地区の水源においては、地区の意見や事業コストの面から、町としては現在活用する計画はない。

(上田町長) 今は甲佐町からの給水が重要であるが、将来的には甲佐町に頼らず美里の水で運用することも考えている。

●有安地区旧工場跡地活用について

(問) 解体後の活用計画はあるのか。

(松岡企画情報課長) 解体後は、企業誘致や定住団地の整備を検討している。

(問) 地質調査を行い、安全性の確保はできているのか。

(松岡企画情報課長) 掘り起こした土砂の分析を行った結果、安全性に問題はない。しかし、企業誘致や定住団地を整備する場合、その活用用途に合わせた地質調査を行う必要がある。

(上田町長) 解体施工後は安全性を十分に検討し活用していきたいと思う。

●テレビ等の電波障害について

(問) 大沢水地区のテレビの映りが悪いが町で原因を調査できないか。

(松岡企画情報課長) 町では調査はできないため、近くの電気店等に調査を依頼してほしい。

(上田町長) 町で個別に対応することは難しい。電波障害の主な原因は、近くの障害物や強い電波源による干渉、アンテナの不具合等が考えられる。これらの一般的な対策としてアンテナの向き・高さの調整、ブースターを付けるといった受信力の向上が挙げられるので最寄りの電気店等にご相談頂きたい。



有安工場跡地屋内の様子

中学校の部活動の社会体育移行について



村崎 公一 議員

教育長

生徒・保護者の不安を解消することが大事！

●小学校・中学校の環境について

(問) 今年度の町内の中学校の生徒数並びに令和14年度の生徒数の見込みは、

(吉永教育長) 砥用中92名・中央中

102名 合計の194名

10年後の中学校の生徒数、砥用中53名・中央中41名 合計の94名の見込み。

(問) これから少子化が進む中で、町として教育環境の整備をどう考えているのか。

(吉永教育長) 本町の小・中学校はほぼすべての学年・学級が少人数といえる。少人数授業については、県教委から加配の教員(特別に割り振られた教員)がいる学校では、すでに少人数授業を行っている、〈砥用小 数・英〉〈中央中 英〉〈砥用小 算数少人数〉町独自で、すべての学校に学習支援員を配置している。

(問) 昨年度から始まった美里公営塾の昨年度の参加者並びに今年度の参加者は。

(吉永教育長)

昨年度の参加者数は砥用中16名・中央中29名 合計45名

本年度の参加者数は砥用中30



公営塾・砥用中

名・中央中22名 合計52名で増加している。昨年度2月、終了後参加生徒並びに講師にアンケートをとったが好評だった。ただ、どの程度実力がついて、高校入試でどれくらい点数がとれたか等については分からない。

(問) 町として学校教育の場にどこまで関わる事ができるか。

(吉永教育長) 学校の教育課程の編成の裁量権は校長である。教育課程の範囲内で日課に無理がないなら、例えば英語の授業時数を短期間なら増やすことが可能である。しかし、国が定めた標準時数をクリアしてすべての教科で教科書を終わらなければならぬので、年間通して一つの教科の授業時数を増やすことは困難である。別の方法として、学校には余剰時数があるのでその時間を使う、もしくは教育特区を申請するという方法があるが、教員の「働き方改革」のことも忘れてはならない。

●学校給食について

(問) 現在、町内の中学校給食は民間に委託しているが、今後は自校式給食を含めどの様に考えているのか。

(吉永教育長) 中学校の給食が民間委託となつて5年目を迎えている。納入業者も以前と同じ、調理師も委託前とほぼ同じ方が調理しているので問題なく運営できている。自校式給食は調理したばかりのあたたかい給食を食べる

ことができ、アレルギー対応などもきめ細かくできるよさがある。今後は小学校も委託を検討する時期が来ると考えている。

●中学校の部活動の社会体育移行について

(問) 小学校の部活動の社会体育移行時の検証などは行っているのか。

(吉永教育長) 本町は平成29年度末に完全移行した。検討委員会で協議を重ねながらスムーズに移行できたと考える。移行後に行ったアンケートでは、現在クラブチームなどで運動している3年生以上の児童は約64%である。町では、社会体育移行後の様々な課題解決に向けて協議していく「ジュニアスポーツ運営委員会」を設置して幅広い意見を聞いていく考えである。中学校の社会体育移行については町内で協議するための「検討委員会」を秋に開催したいと考えている。生徒、保護者の不安を解消することが大事。

(問) 社会体育施設の改修などは考えているのか。

(吉永教育長) 今後、中学校の部活動が地域移行すれば、体育施設の整備をしてほしいという要望も予想できる。老朽化している施設もあることから、計画的な改修なども検討していく必要がある。「美里町公共施設等マネジメント計画」のことも考慮する。

若者定住住宅の開発は



町長

前向きに検討

●結婚対策

(問) 結婚活動支援センターに登録している人はどれくらいか。登録が少ない場合の対策はあるか。

(松岡企画情報課長) 美里町の登録者は現在9名。広報などで啓発するとともに登録がしやすいように工夫をする。

(問) コロナ禍の中、町の行事や民間の行事も中止や縮小されている。本年7月に町の出資で「美里まちづくり公社」が設立された。交流人口、関係人口による出会いの場を作るためにもいろんな計画をされる中に美里町民が参加できる活動を取り入れてもらいたい。

(上田町長) いろんな事業を実施する中で出会いの場を作るためにも住民が参加できるようにしたい。

●住宅政策

(問) 結婚や移住しても住む家が見つからない現実がある。美里町に空き家は相当あると思われるが空き家バンクには7件の登録しかない。貸せない理由を解消してもっと増やせないか。

(松岡企画情報課長) 町には500件以上の空き家がある。心情的な理由や直接に貸借するなどして登録者が少ない。今後地域おこし協力隊と協力しながら進めていく。

(問) 美里町には町営住宅が18カ所あ

るが建設年度から40から50年が経過している。改修も行っているが建て替えの必要な団地もある。今後の対策は。

(富永建設課長) 策定中の「美里町公営住宅等長寿命化計画(第2期)」において検討した上で令和5年から10年間の計画を作成し町の財政状況を踏まえて効率的かつ円滑な更新に取り組む。

(問) 若者が定住する町営住宅の取組は考えているか。

(富永建設課長) 甲佐町や山都町が「子育て支援住宅」「移住定住促進住宅」として取り組んでいる。美里町でも検討を進める。

(上田町長) 銀行を交えてPFI方式などの勉強会を開いている。今後、他



宮の前若者住宅団地

町を参考に検討する。

●子育て支援

(問) 美里町は他の自治体に比べて支援が充実している。更に、学校給食の無料化、入学祝い金の検討をしたらどうか。それと充実した町の施策はホームページなどを工夫して多くの人に知ってもらおう工夫をしたらどうか。

(上田町長) 今回の補正予算で給食費の負担軽減補助金を提案している。恒常的な支出となるので慎重に検討する。

●雇用の確保

(問) 菊陽進出企業に関しては関連企業の誘致、旧中央西小学校跡地はサテライトオフィスとしての利用、有安旧工場跡地は本年度整備が完了する。企業誘致活動は行っているのか。

(上田町長) 松岡企画情報課長が県職員として企業誘致に携わっていた。一緒に県との連携を図りながら誘致活動をしている。

●人口減少対策担当班の設置

(問) 町外に住んで美里町に通っている職員を中心に人口減少対策のプロジェクトチームを作ってはどうか。

(上田町長) そのような意見の聴きとりは出来ると思う。

委員会活動報告

委員会 (9月6日)
現地視察 (9月8日)

総務文教常任委員会

委員長 濱田憲治 副委員長 福田秀憲
委員 上田 孝 吉住淳一 村崎公一

令和3年度美里町一般会計決算について

【総務課】 地方交付税が令和2年度より281、639千円の増額で、要因として個別算定経費の増額や地域デジタル社会推進費及び臨時経済対策費の創設がある

【企画情報課】 国庫補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連の事業を実施
【学校教育課】 教育費寄付金100万円を5つの小学校で20万円の備品を購入

令和4年度美里町一般会計補正予算(第6号)の説明

【総務課】 原油価格・物価高騰対策支援給付金(新型コロナウイルス対策)とし、町民1人5,000円の費用の予算を計画している

【企画情報課】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金。地域づくり

夢チャレンジ推進補助金を計上。美里バス乗車体験イベントを実施予定

【住民課】 マイナンバーカード普及促進のため会計年度任用職員の雇用(諸手当)の経費を計上し、マイ

ナンバーカード普及を目指す

【学校教育課】 物価高騰等による給食費の保護者負担軽減対策事業補助金(新型コロナウイルス対策)や小中学校の修学旅行でも新型コロナウイルス対策として、バス代金等の補助を計画

【社会教育課】 B&G体育館トイレ改修工事(新型コロナウイルス対策)と海洋センタープール劣化状況調査費を計上

〈現地視察〉

〔国道218号線から低用庁舎までの上り坂〕

車道と歩道の境には、車除けのブロックが設置。

〔低用庁舎、非常用発電設備改修工事現場〕

発電機は、中央庁舎に設置してある発電機同類のもので、発電稼働時間は72時間である

〔B&G体育館のトイレ改修〕

和式トイレを洋式トイレに変更及び、通路より下がっている床もバリアフリー化。洋式トイレはウォッシュレット仕様。

〔B&G海洋センタープー

ル劣化状況調査〕専門業者の劣化状況調査手数料を計上し、今後どのような仕様で改修等するか判断材料を見極める

〔震度計〕

6月26日に観測された地震計が、老人福祉センター裏に設置されており、この計測器は防災化学技術研究所が設置されている

〔やすらぎ交流体験施設備品購入(新型コロナウイルス対策)エアコン2機を更新する



二俣橋視察

産業厚生常任委員会

委員長 坂田竜義 副委員長 高田美千子
委員 今田政行 隈部 寛 平野保弘

令和4年度美里町一般会計補正予算(第6号)の説明

【福祉課】 介護基盤緊急整備特別対策事業補助金(介護医療院施設整備にかかる補助)

美里町地域介護・福祉空間整備等補助金(みんなの家設備)介護保険特別会計への繰り出し等。

【健康保険課】 国民健康保険特別会計への繰り出し、コロナ関係の国庫負担金の返還金等。

【水道衛生課】 簡易水道施設整備補助金(菅野など5地区)、水道事業基金積立金、簡易水道事業特別会計繰出し金等。

【経済課】 経営発展支援事業補助金(新規就農者) 農業用燃料価格等高等対策助成金(販売額50万円以上の農業者、対象経費の6%、10万円上限)、指定管理者に対する燃料価格高騰対策助成金。佐保の湯落石防護柵設置工事等。

【林務観光課】 森林調査業務委託料、原油価格、物価高騰対策支援補助金(販売額50万円以上、対象経費の6%、10万円上限)ガーデンプレイス・家族村備品購入等。

【建設課】 老朽危険空き家等除却推進補助金、町道維持工事測量設計委託料、町道維持工事請負費、町営住宅修繕料等。

〈現地視察〉

①町道太刀高江線 高江側から3分の2完了。残り約

260mは令和6年度完成めざす

②一般県道 三本松甲佐線(令和

平成12年から動きがあり令和4年8月竣工。旧道の町道編入についても確認。

③ガーデンプレイス家族村エアコン設置工事(584万円)

④町道馬門線(馬門橋)橋梁補修設計業務委託。将来的にフットパスコース。サイクリングロードなどに活用。

⑤通称「西田用水」災害復旧工事、中国地内 総工費 3400万円



馬門橋視察

中学生議員8名が堂々と一般質問

砥用中学校

村嶋まつり議員



(問) 投票されているゴミなどを、フットパスなどのイベント時に、「ゴミ拾い」を加えて、楽しみながら自然を守る活動にするのはどうか。

(上田町長) 日本におけるフットパスの取り組みでは、美里町は自他ともに認める先進地であり、コースの数も内容も日本トップと言える。議員提案のフットパスとゴミ拾いのコラボ企画は、とても面白い提案であり、早速検討をしてみたい。

田村陵馬議員



(問) 熊本地震からの復興はどこまで進んでいるか。地震時の避難所運営や自力で避難できない人への対応はどうなっているか。中学生としてできる事を手伝いたいと考えがどうか。

(富永建設課長) 熊本地震では、計99件の災害が発生したが、約8億4千万円の復旧工事費をかけて令和2年3月までに工事が完了した。

(上田町長) 町では、避難行動要支援者名簿の作成等、個別避難行動計画の策定をすすめている。避難時には、自分の安全確保の上、出来る手伝いをしてほしい。

山口颯人議員



(問) 美里町で開かれるイベントは何かあるか。その告知や宣伝はどうされているか。新しいイベントの計画はあるのか。広場や公園でマルシェを開催して、特産品を販売したり美里町を知ってもらう機会にしているか。

(大本観光商工係長) アタック・ザ・日本一、どんとまつりなどがある。イベントはテレビ・ラジオCM、新聞広告、雑誌、SNSでの告知を行っている。美里町の新しいイベントについては多くの町民の方々の意見を聞き検討する。

(上田町長) マルシェは平成29・30年に開催された。来場者は本町に好印象を持たれ「また来たい」との声も聴かれており、今後、会場選定などを検討し誘致したい。

中嶋紗良議員



(問) 草木が視界を遮り危険を伴う通学路があるが、町は把握はされているか。又、除去作業や歩道の清掃管理などされる頻度はどうか。

(吉永教育長) 通学路交通安全プログラムに基づいて、毎年8月に報告を受けた通学路の危険箇所の安全点検をしている。美里町の児童生徒が安全に登下校出来るように環境を整えていきたいと町は考えている。

中央中学校

平川 芯議員



(問) 農業者の高齢化による担い手の減少について、町はどんな対策に取り組んでおられるか。今後、新たな特産品としてどのようなものがあるか。

(西寺経済課長) 町では、農業に携わる方たちに様々な支援を行っている。農業機械の購入や設備導入の補助をしたり、新規就農者への支援をしたり。今年度からは、役場経済課に営農相談員も配置している。

(上田町長) 特産品として「美里米」のブランド化や里芋の栽培などを検討している。

西村羽花議員



(問) 中央地区の商店街の現状について、町の考えは。商店街と観光産業の連携を図り、「観る」「買う」「食べる」「体験する」の観光の実現について町の考えは。

(大本観光商工係長) 郊外型大型店舗、量販店の進出で本町の商店街がかつての賑わいを取り戻すことは厳しい。しかし、小さな商店街も必要である。町では町内の登録店で使用できるプレミアム商品券を発行しコロナ禍でも近くで買い物できるよう進めている。

(上田町長) 商店街を活性化するには多くの方に美里町に来ていただく事が大事である。そのツールとして観る観光、体験する観光の素材は豊富である。まさに今、泊まる観光も充実しつつある。一方で買う観光・食べる観光はもっと知恵を出す必要がある。

まずは美里町を知っていただくために、皆様も美里町の魅力をSNS等で発信していただきたい。

米村快都議員



(問) 町は「マスコットキャラクター」を作製されたことはあるか。マスコットキャラクターがあれば、町の知名度を高めたり集客力を高めたり、地域とのコラボレーションで、様々な事業拡大等のメリットが考えられるが、町の考えは。

(上田町長) 石段完成30周年を記念して「石段のぼるくん」のキャラクターを作製した。ラインスタンプの販売に活用し「アタック・ザ・日本一」でグッズを配布予定。今後はこのキャラクターをもっと多方面に活用していきたい。

石田健翔議員



(問) 今後は中学校の統合も考える必要があると思うが、町の考えは。もし、統合す

るとしたら、中央中学校を「スポーツ合宿施設」に活用したらどうか。

(吉永教育長) 町では、H30年に、学校統合についてのアンケートを実施した。将来の児童生徒数を考えたとき、小中一貫校や義務教育校などの選択肢がある。もし、学校統合によって、中央中が学校でなくなるかと仮定した場合は、様々な視点から総合的に考えると中央中はよい施設だと言える。

貴重な体験「子ども議会」

砥用中学校長 樹本 龍次

三年ぶりに「子ども議会」(中学生対象)が開催されました。各中学校では子ども議員となる生徒が、美里町の現状を様々な視点からとらえ課題を絞り、故郷の未来像をイメージしながら生徒なりの考えをまとめて質問の作成に取り組みました。議会本番では、張り詰めた空気の中、子ども議員が議案を進め、指名された子ども議員が堂々と質問をしました。有難いと思ったのは、質問に対して上田町長や関係各課代表の方が丁寧に説明し、町としての方針や方向をきちんと答弁されたことです。傍聴する私たちも美里町が今後どこに向かおうとしているのかよく理解できました。中学生が美里町の現状と将来を真剣に考えたこと、そして、行政トップの方々と向き合い、自分の考えを緊張しながらも自信を持って述べたことは、一生忘れることのない貴重な体験です。上田議長が講評で「美里町の将来も捨てたものじゃない」と結ばれたのは、美里町の将来を担う中学生に対して大きな期待を持たれたの素直な感想であったと思います。学校教育に携わる私たちは、児童生徒が郷土を誇りに思い愛する心を、さらに育てなければならぬと実感した「子ども議会」でした。



よしぜ
吉瀬

きぬえ
絹枝（畝野）

「毎日を仲間と楽しく」

私は、近所の皆さんや友達に囲まれて毎日にぎやかに過ごしています。我が家の店先は、いつも仲間たちの抛りどころになっていてミニサロンのよう。時々留守にすると、「シャッターが開いたら」と寂しか。と言われます。

元気に過ごせており、「楽しかなー。あたからパワーを貰わにゃん」などと、言われたりします。

私は、子どもの頃から他人の手伝いをするように生まれついていて、今でも毎日がボランティアと思っています。

人に喜んでもらうと自分が嬉しくなります。

昭和26年に結婚以来、婦人会活動も通算70年以上頑張ってきましたね。新春マラソン、どんどこや、高校野球美里大会などのだご汁やぜんざい、握

り飯、高菜の油げのおもてなし。町の配食サービスを通しての村まで届けたり、国道のごみを収集したり。様々なボランティア活動も仲間がおればこそよくやって来れたなと思います。

現在は、婦人会も解散して大変残念な気持ちですが、地域の仲間と励徳小学校児童の安全の見守り活動を続けており、子供たちの元気な声に励まされています。

私はこれからも、心の持ちようを大切にして物事を良か方に良か方に考えて、みんなに感謝しながらニコニコして暮らしていこうと思っています。



なかやま
中山

まさお
正夫（馬場）

「喜ばれることが一番の楽しみ」

私は、結構趣味が多く家の周りには観葉植物や金魚・多肉植物が並んでおり、特にサボテンは、自作のハウスに数十種類を育てています。高校時代から始めたエレキギターは、バンドを止めた後もずっと続けており今も楽しみの一つです。中でも10年ほど続けている中央小学校の構内の草刈りや花の手入れは、大きな

楽しみになっています。

定年後、小学校のプールの監視員をしたことがきっかけで、学校の周りの伸びた草が気になって、草切をしたり樹木の剪定や菜園を作ったりするようになりまし。先生や子供たちとも顔見知りになり、喜んでもらうことが嬉しくて、いつい張り合いも出てきます。

年末には、子どもたちに大王松の「松ぼっくり」を届けるのですが、お礼の手紙や子

頑張っています。ボランティア活動！

供が作った松ぼっくりの飾りをもらったときは、本当に嬉しくて今も家に飾っています。

地域の高齢者の方からも「蜂の巣をとって」「とり小屋の修理をして」等、依頼されるとうれしくて出かけていきます。

専門的なことは自分で出さない事もあります。が、ややかんとする事は無いですね。

今思う事は、みんなに喜ばれるボランティアをもっと早くからやればよかったという事です。これからも「ありがとう」と喜ばす顔を見れること、自分出来る事は続けていこうと思っています。

お知らせ

◆次回定例会12月です。
傍聴においで下さい。

お問い合わせ

議会事務局
46-2111(内線600)

訂正とお詫び

きらり14号の記事に誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

(誤) 6ページ サブタイトル
町長 持続可能な部活動を目指す

(正) 教育長 ←
持続可能な部活動を目指す



コスモスの丘（畝野地区）

編集後記

第3回定例会も無事終了し、町づくり公社設立などの新たな施策も示されました。そんな中、本町でも新型コロナウイルスの第7波による感染者数が急増、又、台風14号が襲来するなど、私たちの暮らしを直撃する出来事が続いています。

しかし、昔から「禍福はあざなえる縄の如し」といいます。試練の多い時代ですが季節は駆け足で巡り、社会には日々新たな嬉しい出来事も生まれています。

議員一同、美里町の明るい未来を信じて町づくりに取り組むとともに、読みやすい広報紙作りに努めてまいります。

(高田)

議会広報委員

委員長	今田 政行
副委員長	高田 美千子
副委員長	村崎 公一
委員	濱田 憲治
委員	坂田 義寛
委員	隈部 寛孝
発行責任者	上田 孝